

小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

発行日
平成29年7月14日(金)
発行者
宗谷管内地域未来づくり
会議事務局

平成29年度第1回地域未来づくり会議

平成29年7月5日(水)、北海道利尻高等学校において、「第1回地域未来づくり会議」を開催しました。

本会議では、平成28年度の取組の報告及び平成29年度の取組の予定について推進校である利尻高等学校からの説明のあと、各委員から取組の充実につながる御意見をいただくとともに、本会議の委員長である侘美稚内北星学園大学准教授から助言をいただきました。会議の内容は次のとおりです。



○「地域ダイスキ！プロジェクト」の取組について

- ・キャリアノートの活用により、子どもたちの身に付いた力の的確な把握に取り組む
- ・「キッズビジネスタウンりしり」（平成29年11月5日(日) 予定)の取組において、高校生が小学生に接客方法などを教え、協働する取組を行う(10月予定)
- ・高校生による「神居海岸パーク」についての調査研究の実施や中学生による観光スポットPR動画の制作に取り組む

○「子どもダイスキ！プロジェクト」の取組について

- ・家庭や子育てに関する座談会の実施
- ・保育所等での実習時における子育て中の母親との交流
- ・子育て支援に係る出前授業の実施、家庭科における「少子化対策副読本」の活用

地域未来づくり会議委員からの意見等

- 小中高が連携して取り組んでいるキャリア教育について、地域の方や保護者に十分周知されていないのではないかと。学校がなぜキャリア教育に取り組んでいるのか積極的にアピールしてほしい。
- これまでの2年間の取組の成果をさらに積み上げ、3年間のまとめとして子どもたちが地域に向かって発表する場面があるとよい。中学校が取り組んでいる観光案内PRビデオは形に残る取組でありよいと思う。
- 「子どもダイスキ！プロジェクト」の取組は、中学生にとっても必要な取組である。高校生と中学生が交流し、家庭や育児について考えを深める取組も考えられる。また、学校の取組を地域に広げることを目指し、高校生が役場の少子高齢化担当部局の若手職員とワークショップをするなどの取組を検討してほしい。

助言（稚内北星学園大学 侘美 准教授）

- 2年間の取組の中で見えてきた課題を、3年目でどのように改善し、目的を実現するかが問われている。地域の方に成果を還元することを意識した取組を進めてほしい。
- 来年度以降も継続的、発展的な取組となるよう工夫・改善を図ってほしい。また、本事業の取組を出発点として、多方面に波及させる工夫に取り組んでほしい。